

令和3年（2021年）11月2日

熊本県立大学の次期学長の選考結果について

熊本県立大学の現学長の任期が令和4年3月31日をもって満了するため、公立大学法人熊本県立大学定款（以下「定款」という。）第11条第3項及び公立大学法人熊本県立大学学長選考等規程第2条第1号の規定に基づき、次期学長について、学長選考会議で下記のとおり選考し、令和3年（2021年）11月2日に法人理事長へ報告しました。

公立大学法人熊本県立大学 学長選考会議

記

1 次期学長として選考された者

- (1) 氏名 堤 裕昭（つつみ ひろあき）
- (2) 年齢 65歳（令和4年4月1日現在）
- (3) 略歴 別紙のとおり

2 任期

令和4年4月1日から令和8年3月31日までの4年間

3 選考理由

学長選考会議は、推薦された2名の学長候補者について、推薦機関及び候補者から提出された書類の審査並びに面接審査を行った。

選考に当たっては、選考の基準（別添「熊本県立大学の次期学長に求められる資質・能力について」）に照らし、推薦理由書、履歴書、所信表明書、並びに面接審査における学長候補者からの説明や質問に対する応答を総合的に勘案して審査した。

その結果、堤 裕昭氏が、選考の基準に明示された学長の資質・能力を十分に備え、次期学長に最も相応しい人物であると判断した。

4 選考経過

(1) 学長選考開始の公示

学長選考会議において、選考の基準、選考方法及び選考日程等を令和3年（2021年）6月23日に審議し、当該事項を記載した「学長の選考開始の公示」を6月30日付けで大学のホームページに掲載して公示した。

なお、学長候補者を推薦できる機関等は次のとおりである。

- ①経営会議（2人以内を推薦する）

- ②教育研究会議（2人以内を推薦する）
- ③常勤教職員（10人以上の連署をもって1人を推薦できる）

(2) 学長候補者の推薦受付

(1)の公示に基づき、学長候補者の推薦を、8月25日から9月22日まで受け付けた。

(3) 学長候補者の推薦の確認

学長選考会議において、推薦が適正であるかの確認を9月27日に行い、推薦された学長候補者の氏名等を10月6日に大学のホームページで公表した。

なお、推薦状況は次のとおり。

- ① 経営会議の推薦 2名
- ② 教育研究会議の推薦 1名
- ③ 常勤教職員10人以上の連署の推薦 なし

※ ①及び②からの推薦のうち、1名は同一人であるため、推薦された学長候補者の実人数は2名

(4) 学長候補者からの書類提出

10月5日に履歴書及び所信表明書の提出を受けた。

(5) 審査及び選考

学長選考会議において、10月20日に書類審査及び面接審査を実施し、選考した。

熊本県立大学 次期学長略歴

堤 裕昭 (つつみ ひろあき)



現 熊本県立大学副学長
熊本県立大学共通教育センター長
熊本県立大学共通教育センター教授

- 1 年齢 65歳（令和4年4月1日就任時）
（昭和31年5月6日生まれ）
- 2 最終学歴 九州大学大学院理学研究科博士課程修了（昭和60年6月）
- 3 学位 博士（理学）（九州大学 昭和60年6月）
- 4 主な職歴
 - ・熊本女子大学生生活科学部助教授（昭和62年4月～平成6年3月）
 - ・米国ラトガース大学、海洋・沿岸科学研究所客員教授（平成3年9月～平成4年7月）
 - ・熊本県立大学生生活科学部助教授（平成6年4月～平成11年3月）
 - ・熊本県立大学環境共生学部教授（平成11年4月～現在）
 - ・熊本県立大学大学院環境共生学研究科長（平成22年4月～平成24年3月）
 - ・熊本県立大学環境共生学部長（平成24年4月～平成28年3月）
 - ・熊本県立大学地域連携・研究推進センター長（平成28年4月～平成30年3月）
 - ・熊本県立大学副学長（平成30年4月～現在）
 - ・熊本県立大学共通教育センター長（令和3年4月～現在）
 - ・熊本県立大学共通教育センター教授（令和3年4月～現在）
- 5 専門分野 海洋生態学 沿岸環境科学
- 6 受賞 平成20年度日本水産学会論文賞（平成21年3月）
Asian Marine Biology Symposium Contribution Award（平成26年10月）
三井物産環境基金10周年記念研究助成優秀賞（平成27年10月）
第7回アグリテックグランプリ最優秀賞（令和2年9月）

7 学会での活動状況

役員：日本ベントス学会英文誌編集委員長（平成15年～平成23年）

日本ベントス学会運営委員（平成13年～平成15年、平成23年～平成27年、平成31年～現在）

日本ベントス学会会長（平成27年～平成31年）

不知火海・球磨川流域圏学会副会長（平成24年～平成25年）

不知火海・球磨川流域圏学会会長（平成26年～現在）

会員：日本ベントス学会、日本プランクトン学会、日本水産学会、日本海洋学会、日本生態学会、日本混相流学会、不知火海・球磨川流域圏学会

8 社会での活動状況

国土交通省 八代海域調査委員会委員（平成13年4月～平成15年3月）

国土交通省 立野ダム環境検討委員会委員（平成13年12月～現在）

熊本県環境センター環境教育指導者（平成14年4月～現在）

国土交通省 八代海域モニタリング委員会委員（平成15年5月～平成21年3月）

北九州市 洞海湾環境修復検討委員会委員（平成18年4月～平成26年3月）

国土交通省 菊池川下流域自然再生委員会委員（平成18年4月～平成28年3月）

国土交通省 宮崎海岸侵食対策検討委員会（平成19年4月～現在）

福岡市 アイランドシティ整備事業環境モニタリング委員会委員（平成20年7月～平成30年3月）

公益財団法人肥後の水資源愛護基金評議委員（平成22年11月～現在）

出典 熊本県立大学研究者情報（一部抜粋）